

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスでお亡くなりになられた方にお悔やみ申しあげるとともに、現在も体調を崩されている皆様へ、心よりお見舞い申し上げます。また、医療関係の皆様をはじめ、感染拡大防止に向けて日夜奮闘されている皆様へ心からの敬意を表します。

当期は、当社グループは「Smart Energy Partnerとして先進技術を結集し、お客様に電気エネルギーを安心して、効率的に活用いただき、持続可能な社会の実現と発展に貢献する」というVisionと10年後のあるべき姿の実現に向けて2020年度をスタート年度とする中期事業計画「R1」を発表しました。中期事業計画「R1」でYear0と位置付けた当期は、電子事業の一部の事業譲渡や転進支援制度実施にもとづく人員の適正化などの構造改革を実施し、事業ポートフォリオ再編に向けた取り組みに注力いたしました。さらに前期に引き続き次世代電池の開発を推進するとともにSMD対応小型全固体電池においては量産体制の構築を推し進め、現行ビジネスにおいては工業用途向け、コンシューマ市場向けで電池の供給数量拡大に努めました。

当期の経営成績につきましては、売上高は、前期に実施した海外子会社の閉鎖や電子事業の一部の事業譲渡などの影響により前期に比べ99億89百万円減の621億23百万円と減収となりましたが、「R1」において成長の柱と位置付けている工業用途向けニッケル水素電池やスマートメータ用途向けのリチウム電池が順調に伸長したことや、電子事業の固定費削減や高付加価値製品への切り替えなどを推し進めたことにより損失幅が縮小し、営業利益は前期に比べ17百万円増の8億41百万円、経常利益は固定資産除却損などを計上した結果、前期に比べ1億53百万円減の5億65百万円となりました。また、前述の事業譲渡に伴う事業譲渡損失や転進支援制度実施による事業構造改革費用および海外子会社の減損損失などの特別損失を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純損失は23億40百万円（前期は2億90百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。当期の業績の詳細につきましては、当招集ご通知の14ページから18ページをご覧ください。

配当につきましては、未だ欠損状態でありますので、誠に遺憾ではございますが見送らせていただきたいと存じます。株主の皆様には誠に申し訳なく、心よりお詫び申し上げます。

中期事業計画「R1」のスタート年度となる2020年度につきましては、引き続き新型コロナウイルスの影響などにより、当社を取り巻く事業環境は不透明な状況が続くと想定されます。このような状況のなか、「R1」達成に向け、今期実施した構造改革による経営リソースの効率化をスピード感をもって実行し、当社グループが一丸となり現行ビジネスの安定化と利益ある成長を確立するとともに次世代に繋がる新事業の開拓についても積極的に計画、実行してまいります。さらに当社グループのステークホルダーのすべてに満足いただく「And Game」の実現のため、従業員が自律的にお客様に満足いただける努力を惜しまない企業文化の醸成に努め、企業価値の向上に繋げてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続き当社グループをご支援賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長  
長野 良

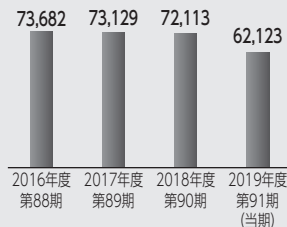
2020年6月

## 連結決算ハイライト

売上高

621億23百万円

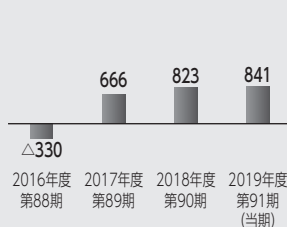
単位:百万円



営業利益又は営業損失(△)

8億41百万円

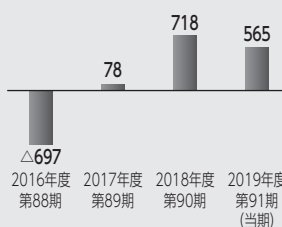
単位:百万円



経常利益又は経常損失(△)

5億65百万円

単位:百万円



親会社株主に帰属する当期純損失(△)

△23億40百万円

単位:百万円

